

Chromebook を活用した自己紹介のプレゼンテーション (New Horizon English Course 1 Unit 1 New School, New Friends)

①統合

②個・学

②評価

③タブ

④ロイロノート

【ここがポイント！】

①「ロイロノートの活用」

自己紹介の英文を書いたカードを作成する。その後カードを基に動画を作成して、小学校6年生時の担任の先生に送る。

②「自己紹介する相手を替えて、表現内容を考えさせる」

最初にALTに3文程度の英文で自己紹介する。その際の評価を基に自己紹介文の書き直しをする。次に自己紹介する相手をALTから小学校6年生時の担任の先生に替えることで、適切な表現内容を考える。書いた英文についてペアで英語でのやり取りをし、その内容を基に書き直しをする。

③「発表練習の工夫」

動画を撮影する前に、自己紹介文をペアで読み合う。また、動画を撮影して自分で見ることによって自己評価をして改善点を見付ける。

【実践の目標】

習った英文を使って自己紹介の動画を作成して、相手にわかりやすく伝えることができる。

【実際の場面】

1. ALTに自己紹介する英文を3文程度書き、自己紹介をする。

2. ALTに自己紹介した際の評価を参考にして、自己紹介する相手を替え（小学校6年生時の担任の先生）、紹介文をロイロノートのカードに書き直す。



3. カードに書いた英文をペアの相手に向けて発表し、練習する。

4. 聞いた内容について、もっと知りたいことなどを英語で質問したり答えたりする。やり取りを基に自己紹介文に書き加え等をする。

5. 書いた英文をペアで読み合っ改善点等を交流する。また、動画を撮影して自分で改善点を見付ける。

6. 自己紹介の動画をロイロノートに撮影し、小学校の先生に送る。

7. 自己紹介のカードと動画を提出させ、評価を行う。

【成果と課題】

【成果】

- 自己紹介する相手を替えることで、相手に応じて何をどのように伝えればよいか表現内容や伝え方を考える場面を設定することができた。
- 小学校6年生時の担任の先生からメッセージをもらうことで、生徒は意欲をもって活動することができた。また、小学校での学びをつなぐことができた。
- 動画を繰り返し見返す場面を設定することで、主体的に学習に取り組む態度を育成することができた。

【課題】

- ICTをより効果的に活用する方法について考える必要がある。

府中市立上下中学校

